

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学				
授業終了時の到達目標				
JKCトリマーライセンスC級試験合格を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
有	トリマーとして26年 これまでの経験を生かし授業を展開したと同時にライセンス試験のための対策も行う。			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	プードルケネル&ラム	クリッパー実演		
3~ 5	プードルケネル&ラム講義	全体の切り方の注意事項の説明		
6~ 7	プードルマイアミ	絵を書く カットの説明		
8~ 9	プードルボレロマンハッタン	絵を書く カットの説明		
10~ 11	サロントリマー 3級試験対策	過去問題を解きながら対策		
12~ 13	今までのおさらい	仕事で使う事例でのおさらい		
14~ 15	スタンダードに基いて考えるトリミング	骨格などの説明		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル		期末試験	100.0%	授業前に過去問題を復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プロフェッショナルトリミングⅠ		動物看護総合学科/3年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	森, 三村, 北村, 野崎, 濱野は
授業の概要				
様々なトリミング犬種のカットスタイルをマスターする				
授業終了時の到達目標				
2時間以内にカットの仕上げまでができるようになる				
JKCトリマーライセンスC級及びトリミングライセンス1級試験合格を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
有	森 純子 トリマーとして20年 三村梨恵 トリマーとして16年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして3年 野崎真優 トリマーとして5年 濱野春菜 トリマーとして4年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~4	応用	トリミング犬種を中心とした実習 トリミング実習に続くカットの仕上げを行う		
5	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
6~9	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬種、犬体に応じたカットを考える		
10	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
11~14	応用	トリミング犬種を中心としたトリミング実習 犬種、犬体に応じたカットを考える		
15	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プロフェッショナルトリミングⅡ		動物看護総合学科/3年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	森, 三村, 北村, 野崎, 濱野は
授業の概要				
様々なトリミング犬種のカットスタイルをマスターする				
授業終了時の到達目標				
2時間以内にカットの仕上げまでができるようになる				
JKCトリマーライセンスC級試験合格を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
有	森 純子 トリマーとして20年 三村梨恵 トリマーとして16年 北村峻也 トレーナー・トリマーとして3年 野崎真優 トリマーとして5年 濱野春菜 トリマーとして4年 豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
4	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
5~7	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
8	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
9~11	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
12	モデル犬チェック	2時間で担当犬の全身カットを仕上げる。 ライセンス試験に向けての練習		
13~15	トリミング基礎復習	トリミング犬種を中心とした実習 犬種別のカット技術を身に着ける		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾智, 藤原
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
脚側歩行訓練ができるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】 トレーナーとして26年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	クリッカー集中	クリッカーを使ったトレーニング		
6~10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
11~15	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習Ⅳ		動物看護総合学科/3年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾智, 藤原
授業の概要				
犬の集中力・正確さをやしなう				
授業終了時の到達目標				
脚側歩行訓練ができるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】 トレーナーとして26年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	クリッカー集中	クリッカーを使ったトレーニング		
6~10	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥		
11~15	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 出席率	50.0% 50.0%	【準備学習】テキストを読んで予習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物繁殖学		動物看護総合学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	西村 美笛
授業の概要				
<p>繁殖は動物が存続する上で欠かせないものであり、雌雄がそれぞれ成長して生殖能力を有し受精により新たな個体(生命)が誕生する神秘的な営みである。本科目では主にイヌやネコの雌雄の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。さらに正常な分娩の前兆、生理的变化と異常分娩時における助産について学習する。また、産褥期の母体看護、新生児の管理を理解し、飼い主へのアドバイスに役立てる。ブリーディングにおいて知っておかなければいけない交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解を深める。また、イヌとネコ以外の動物についても繁殖に関して比較して学習する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>イヌ、ネコの繁殖について説明ができる イヌの交配について説明ができる ネコの交配について説明ができる イヌ、ネコの生殖器について説明ができる</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として2年間勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	雌の生殖器の構造と機能	雌の生殖器の構造と機能 各種動物の比較解剖		
2	雄の生殖器の構造と機能	雄の生殖器の構造と機能 各種動物の比較解剖		
3	性成熟と生殖周期① 生殖活動に関連するホルモン	雌イヌと雌ネコの性成熟と生殖周期 生殖活動に関連するホルモン		
4	性成熟と生殖周期② 生殖活動に関連するホルモン	各種動物の性成熟と生殖周期 生殖活動に関連するホルモン		
5	雌イヌの繁殖①(排卵と交配)	イヌの排卵、交配時期		
6	雌イヌの繁殖②(妊娠、分娩)	イヌの妊娠、分娩		
7	雌ネコの繁殖①(排卵と交配)	ネコの排卵、交配時期		
8	雌ネコの繁殖②(分娩) 帝王切開	雌ネコの妊娠、分娩		
9	出産①	出産の立ち会い方		
10	出産③	助産		
11	難産、帝王切開	生まれてきた子犬の健康維持について		
12	子犬の健康維持について	生まれてきた子犬の健康維持について		
13	離乳期の飼い方	離乳食の与え方		
14	まとめ	まとめ		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	基礎動物看護学①動物形態機能学 動物繁殖学（インターズー） 動物看護のための小動物繁殖学（ファームプレス） 獣医繁殖学（文栄堂出版）	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	事前学習 前回の授業の内容を熟読すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
比較動物学 I		動物看護総合学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>伴侶動物とは異なる生理・生態・行動・習性・疾病・関係法令・飼育管理方法などを学ぶことにより、小動物臨床現場において応用可能な知識・技術を習得し、臨機応変な対応・考え方のできる動物看護師となり、社会人として必要な教養や一般常識を身に付けることが重要である。それぞれの動物に対し、伴侶動物とは異なる愛護精神が必要となるため、多様性のある物事のとらえ方、動物との接し方を学び、滑動物看護師としてどのように関わっていくかを考え思慮を深める。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>産業動物の社会的役割と目的、管理について理解し、多方向から看護対象をとらえることが出来る看護感を養うとともに、正しい知識を身に付けてそれを社会に普及・啓発し動物福祉の観点からヒトと動物の共生に寄与する人材となることを目指す。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<p>動物病院における小動物臨床に従事(37年) 動物系専門学校における動物看護系授業担当(14年)</p>		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内容		
1	産業動物学授業の導入	産業動物とはどのような動物か。 産業動物の社会的役割と目的。 産業動物と伴侶動物の違いは何か。		
2	ウシ①	ウシの歴史、特性・品種		
3	ウシ②	ウシの解剖生理・繁殖生理		
4	ウシ③	ウシの飼育管理		
5	ブタ①	ブタの歴史、特性・品種		
6	ブタ②	ブタの飼養管理		
7	ニワトリ①	ニワトリの歴史、特性、品種		
8	ニワトリ②	ニワトリの飼養管理		
9	ウマ①	ウマの歴史、特性、品種		
10	ウマ②	ウマノ飼養管理		
11	ヒツジ・ヤギ	ヒツジ・ヤギの歴史、特性、品種 ヒツジ・ヤギの飼養管理		
12	畜産業について	我が国の畜産業の概要 地域による特性		
13	産業動物の動物福祉①	産業動物の福祉改善の歴史と定義 産業動物の飼養概況と動物福祉の課題		
14	産業動物の動物福祉②	産業動物に関する国際的福祉基準 動物		

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	動物看護コアテキスト4（ファームプレス） 動物看護の教科書4（緑書房） 応用動物看護学3（インターズー）	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
比較動物学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	荒岡 杉
授業の概要				
<p>自然環境の中で生息し、人間による飼育や繁殖がなく自立して生活している動物が野生動物である。日本における野生動物の現状を正しく理解する。野生動物による人への被害、逆にヒトによって多くの野生動物が絶滅の危機にさらされていること、どのようにしてこの二つの現状を改善するかを考える。また、野生動物の救護についても動物看護師として治療にかかわることになるので、理解を深める。野生動物に対する福祉を考え動物看護師としての知識を深める 「レクリエーション」「野生動物の種の保存」「野生動物の調査、研究」「教育」を目的とした動物園などの展示動物についても理解を深める</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>野生動物の現状について説明することができる 野生動物の関連法規について理解し、そこで求められる取り扱いについて説明できる 特定外来生物に指定されている動物種を知り、外来生物がもたらす影響について説明ができる 野生動物の福祉上の問題点を説明できる 野生動物の福祉向上のために行われている対策を説明できる 展示動物について現状と目的について説明できる</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<p>動物病院における小動物臨床に従事(37年) 動物系専門学校における動物看護系授業担当(14年)</p>		
時間外に必要な学修				
特になし				
回	テーマ	内容		
1	野生動物の概要	野生動物の分類、日本の野生動物、		
2	絶滅危惧種	絶滅危惧種とは 絶滅危惧種になる原因 絶滅危惧種の保全方法		
3	野生動物の保護に関する法律 世界の取り決め	鳥獣保護法 外来生物法 ワシントン条約 ラムサール条約 世界遺産条約 生物多 様性条約		
4~ 6	野生動物の管理	野生動物における鳥獣害の現状 管理対象となる野生動物 の生態 野生動物増加の要因 日本における取り組み		
7~ 8	動物看護師と野生動物	野生動物救護の考え方 野生動物の病気と事故 野生動物 の救護体制		
9	野生動物の福祉	野生動物の福祉 野生動物の福祉に関する諸問題 対策と 課題		
10~ 11	外来生物	外来生物とは 外来生物による影響 対策方法		
12~ 14	動物園の役割、展示動物について	日本における動物園、水族館の現状とその役割について学 習する 展示動物の行動を理解し、健康と福祉に配慮した飼育環境 並びに展示方法について学習する		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<p>応用動物看護学3(エデュワードプレス) 動物看護の教科書第4巻(緑書房) 動物看護コアテキスト4 同b津の行動と健 康管理(ファームプレス)</p>		<p>期末試験 確認テスト</p>	<p>80.0% 20.0%</p>	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学 I		動物看護総合学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 由紀子
授業の概要				
薬の基礎知識、薬理学の基礎を理解する。 代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物看護師は動物病院等での薬に関する業務を滞りなく遂行できる知識を修得する。 ・薬の適切な保管管理を理解し、説明することができる。 ・投薬に際し、薬の適切な取り扱いを理解し、説明することができる。 ・獣医師の処方方を的確に理解し、説明することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR(医薬情報担当者)への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修				
各項目についての復習 各章ごとに実施される、課題の提出または確認テストのための学修				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	愛玩動物看護師による薬物の取扱い	1) 薬理学概論 2) 医薬品の基準と分類 3) 医薬品の開発		
3~ 5	動物薬理学の基礎	1) 薬と薬理作用 2) 薬理作用の発現機構 3) 薬の剤形と投与方法 4) 生体内での薬の動態(吸収、分布、代謝、排泄) 5) 薬効に影響を与える因子 6) 薬の有害作用		
6~ 8	神経系に作用する薬	1) 神経系の基本事項 2) 全身麻酔薬 3) 局所麻酔薬 4) 鎮痛薬 5) 骨格筋弛緩薬 6) 鎮静薬・抗痙攣薬 7) 問題行動の治療薬		
9~ 12	循環器・泌尿器に作用する薬	1) 血管拡張薬(降圧薬) 2) 心不全治療薬 3) 抗不整脈薬 4) 利尿薬 5) 抗利尿薬		
13~ 14	呼吸器系に作用する薬	1) 呼吸興奮薬 2) 鎮咳薬 3) 抗喘息薬(気管支拡張薬)		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻(エデュワードプレス) 愛玩動物看護師の教科書3(緑書房)		確認テスト 期末試験	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物薬理学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 由紀子
授業の概要				
代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用および副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物看護師は動物病院等での薬に関する業務を滞りなく遂行できる知識を修得する。 ・投薬に際し、薬の適切な取り扱いを理解し、説明することができる。 ・獣医師の処方方を的確に理解し、説明することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR(医薬情報担当者)への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修				
各項目についての復習 各章ごとに実施される、課題の提出または確認テストのための学修				
回	テーマ	内 容		
1~3	消化器に作用する薬	1) 制吐薬と催吐薬 2) 抗潰瘍薬 3) 消化管運動促進(調整)薬および抑制薬(鎮痙薬) 4) 止瀉(制瀉)薬 5) 瀉下薬(緩下薬、下剤) 6) 肝・膵疾患の治療薬		
4~7	オータコイド、内分泌・代謝系の薬	1) オータコイド 2) 抗炎症薬 3) 糖尿病治療薬 4) 甲状腺機能障害の治療薬 5) 脂質代謝異常の治療薬 6) 骨代謝異常の治療薬		
8~9	血液に作用する薬	1) 貧血の発生機序と抗貧血薬 2) 血液凝固阻害薬 3) 血液凝固促進薬(止血薬)		
10	免疫系に作用する薬	1) 免疫に影響を与える薬 2) ワクチン		
11~14	化学療法薬	1) 抗腫瘍薬 2) 抗菌薬・抗真菌薬 3) 駆虫薬・抗原虫薬 4) 殺虫薬 5) 消毒薬		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻(エデュワードプレス) 愛玩動物看護師の教科書3(緑書房)		確認テスト 期末試験	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公衆衛生学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 由紀子
授業の概要				
<p>公衆衛生は、ヒトと動物の全てを対象とした分野であり、獣医療に関わるうえでも重要な分野である。また、関連するさまざまな環境要因とヒトの健康である疾病予防、早期発見、健康維持および増進に役立てる総合的な学科目である。ヒトと動物の共生などを対象とする科目では、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生があり、滅菌と消毒、動物防疫学についても学習する。将来、動物看護師として動物病院で勤務する際に衛生面で注意すべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすよう学習する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>公衆衛生の基本的な考え方を理解し、国民の健康増進、動物福祉、環境保全等に活かせる知識を身につける。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		<p>動物病院における小動物臨床に従事(37年) 動物系専門学校における動物看護系授業担当(14年)</p>		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	真菌による人獣共通感染症①	真菌による主な人獣共通感染症に入る前に、真菌の性状について振り返る		
2	真菌による人獣共通感染症②	真菌による主な人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(皮膚糸状菌症、クリプトコッカス症)		
3	寄生虫による人獣共通感染症①	寄生虫による人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(原虫について、トキソプラズマ症)		
4	寄生虫による人獣共通感染症②	寄生虫による人獣共通感染症の中で、原虫によるものについて、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(ジアルジア症、クリプトスポリジウム症、アメーバ赤痢)		
5	寄生虫による人獣共通感染症③	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(線虫によるもの、条虫によるもの)		
6	寄生虫による人獣共通感染症④	原虫以外の寄生虫による人獣共通感染症について、それらの概要や症状、治療、予防方法について学ぶ(寄生性節足動物によるもの)		
7	滅菌と消毒①	滅菌と消毒の違いについて学ぶ		
8	滅菌と消毒②	物理的滅菌方法について学ぶ		
9	滅菌と消毒③	物理的消毒方法について学ぶ		
10	滅菌と消毒④	化学的滅菌方法について学ぶ		
11	滅菌と消毒⑤	化学的消毒方法について学ぶ		
12	人獣共通感染症の対策①	人獣共通感染症の対策について学ぶ		

回	テ ー マ	内 容		
13	人獣共通感染症の対策②	伴侶動物と共生する上での人獣共通感染症の対策について学ぶ		
14	人獣共通感染症の対策③	院内感染とは何か、またその対策について学ぶ		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護の教科書（緑書房）		期末試験 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 由紀子
授業の概要				
卒業研究として実施する。 動物看護に関する研究課題を各自1テーマ設定し、事実・データの根拠とともに推察される自らの考えを検証し論文形式で文書を作成する。その過程で少人数の班に分かれ、それぞれの研究について他者の視点を交えブラッシュアップするためのディスカッションを実施する。また、その研究成果をスライド発表する。				
授業終了時の到達目標				
各自で興味のある事柄について課題を抽出・検証し、論理的思考をもって論文を作成することができる。 社会人として必要とされる能力(コミュニケーション能力・主体性・協調性等)を身に付ける。 パワーポイント等を用い、研究成果をまとめてわかりやすく伝えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR(医薬情報担当者)への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修				
各自の研究内容の検証				
回	テーマ	内容		
1	1) 導入	卒業研究の意義(企業が求める人材とは?求められるスキルの習得を目指す) どのようなものを作成するのか テーマの選定		
2	2) テーマの選定	興味のあるテーマを複数選定し、どのような検証方法が考えられるか検討し、その中から現実的なテーマを1つに絞る。		
3	3) 先行研究探索(書籍・論文等	研究テーマに関する先行研究を探索する。		
4~15	4) 検証方法の検討と決定 5) データの収集 6) 結果のまとめと考察→データ不足の場合、	検証方法を確定し、実行し、その結果をまとめ、考察する。また、論文を作成する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート	100.0%	前期終了までにデータの取得を目指す。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物内科看護学Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 由紀子
授業の概要				
卒業研究として実施する。 動物看護に関する研究課題を各自1テーマ設定し、事実・データの根拠とともに推察される自らの考えを検証し論文形式で文書を作成する。その過程で少人数の班に分かれ、それぞれの研究について他者の視点を交えブラッシュアップするためのディスカッションを実施する。また、その研究成果をスライド発表する。				
授業終了時の到達目標				
各自で興味のある事柄について課題を抽出・検証し、論理的思考をもって論文を作成することができる。 社会人として必要とされる能力(コミュニケーション能力・主体性・協調性等)を身に付ける。 パワーポイント等を用い、研究成果をまとめてわかりやすく伝えることができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR(医薬情報担当者)への教育訓練業務 7年		
時間外に必要な学修				
各自の研究内容の検証				
回	テーマ	内容		
1~14	1) 論文の作製 2) 教員による論文チェック・論文完成 3) 発表資料作成(PowerPoint、Googleスライド等) 4) 発表練習	論文を作成し、完成させる。 発表用の資料を作成する		
15	発表	研究内容を分かりやすい形で発表資料を作成し、校内で発表する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート	100.0%	前期終了までにデータの取得を目指す。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の主な疾患の看護について実践でき、また飼主に疾病の予防を説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として7年、動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	呼吸器の病気1	呼吸器系の解剖生理を復習する 呼吸器の疾患(鼻汁、くしゃみ、咳)		
2	呼吸器の病気2	呼吸器の疾患(ケンネル・コフ、上部気道感染症候群)		
3	呼吸器の病気3	呼吸器の疾患(肺炎、水胸、膿胸、血胸)		
4	呼吸器の病気4	呼吸器の疾患(気胸、肺気腫、気管虚脱、横隔膜ヘルニア)		
5	泌尿器の病気1	泌尿器系の局所解剖と生理を復習する 泌尿器系の主な症状と検査		
6	泌尿器の病気2	泌尿器系の疾患(腎不全)		
7	泌尿器の病気3	泌尿器系の疾患(下部尿路疾患)		
8	生殖器の病気1	生殖器系の局所解剖と生理を復習する		
9	生殖器の病気2	生殖器系の疾患(子宮蓄膿症、乳腺腫瘍)		
10	生殖器の病気3	生殖器系の疾患(前立腺肥大、潜在精巣、陰嚢ヘルニア)		
11	神経系の病気1	神経系疾患の局所解剖と生理を復習		
12	神経系の病気2	神経系の疾患(椎間板ヘルニア、水頭症)		
13	神経系の病気3	神経系の疾患(てんかん、変性性腰仙部狭窄症)		
14	神経系の病気4	神経系の疾患(環椎軸椎脱臼、脊椎奇形)		
15	期末テスト	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパニオンアニマルの健康管理学 ・くわしい犬の病気大図典 	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0% 復習を確認テスト で行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学各論Ⅳ		動物看護総合学科/3年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害を持つ、動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
動物の主な疾患の看護について実践でき、また飼主に疾病の予防を説明できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として動物病院に7年勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	消化器の病気 5	腸の疾患 タンパク漏出性腸症、炎症性腸疾患、食事反応性下痢、抗菌薬反応性下痢、腸リンパ管拡張症		
2	消化器の病気 5	消化管内異物・腸閉塞・腸重積		
3	消化器の病気 5	胃の疾患 胃拡張胃捻転症候群・幽門狭窄・胃炎		
4	消化器の病気 5	食道の疾患 (右大動脈弓遺残含む)		
5	消化器の病気 5	口腔の疾患 1 歯の形態機能(復習) 不正咬合、乳歯遺残、口蓋裂・歯周病		
6	消化器の病気 5	ヘルニア(臍・鼠径・会陰・横隔膜)		
7	消化器の病気 5	肝臓疾患 肝炎、肝硬変、肝リピドーシス		
8	消化器の病気 5	門脈体循環シャント、胆嚢粘液嚢腫		
9	消化器の病気 5	膵炎、膵外分泌不全		
10	循環器疾患	循環器系: 心臓の構造と働き(復習)		
11	心臓の疾患	僧帽弁閉鎖不全 犬糸状虫症		
12	心臓の疾患	動脈管開存		
13	前期の復習	おさらい		
14	復習テスト	復習テストの実施		
15	期末テスト	期末試験の実施		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テーマ	内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパニオンアニマルの健康管理学 ・くわしい犬の病気大図典 	期末試験 確認テスト	80.0% 20.0% 復習を確認テスト で行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物医療コミュニケーション		動物看護総合学科/3年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
基礎的なクライアントエデュケーション、事前問診、容態説明、などを理解し実施できるようになる。その際に必要となるコミュニケーション力を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院にて、動物看護師として22年間勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~4	クライアントエデュケーション	クライアントエデュケーション概論		
5~6	院内コミュニケーション	飼い主教育を主体としたインフォームドコンセントを理解する		
7~8	院内マネジメント	院内業務について理解する		
9~11	グリーフケア	グリーフケアの対応と禁忌		
12	メンタルヘルス	動物看護師のメンタルヘルスについて		
13	まとめ	まとめ		
14	総復習	総復習		
15	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書8 (Eduward Press)		期末試験 課題・レポート	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
適正飼養指導論 I		動物看護総合学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	林 勇樹
授業の概要				
愛玩動物の効用や飼養目的等を理解したうえで、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政のしくみについて理解する				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する 適正飼養に関する支援の目的と活動について理解する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内の動物病院で2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	愛玩動物の飼養①	愛玩動物の適正飼養		
2	愛玩動物の飼養②	愛玩動物の適正飼養		
3	愛玩動物の飼養③	愛玩動物の適正飼養		
4	愛玩動物の飼養④	愛玩動物の適正飼養		
5	愛玩動物の飼養⑤	愛玩動物の適正飼養		
6	愛玩動物の飼養⑥	愛玩動物の適正飼養		
7	動物終末期(飼い主)ケア①	動物終末期(飼い主)ケアと動物看護師の役割		
8	動物終末期(飼い主)ケア②	動物終末期(飼い主)ケアと動物看護師の役割		
9	動物終末期(飼い主)ケア③	動物終末期(飼い主)ケアと動物看護師の役割		
10	動物終末期(飼い主)ケア④	動物終末期(飼い主)ケアと動物看護師の役割		
11	適正飼養の推進①	適正飼養に関する支援の目的と活動		
12	適正飼養の推進②	適正飼養に関する支援の目的と活動		
13	適正飼養の推進③	適正飼養に関する支援の目的と活動		
14	適正飼養の推進④	適正飼養に関する支援の目的と活動		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テーマ	内 容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 (EDUWARD Press) ・授業毎の配布プリント 	期末試験 出席率	80.0% 20.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
適正飼養指導論Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
愛玩動物の効用や飼養目的等を理解したうえで、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政のしくみについて理解する				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物の適正飼養の目的、概念について理解する 適正飼養に関する支援の目的と活動について理解する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、7年間動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	災害危機管理と支援①	災害時におけるペットの救護対策ガイドライン		
2	災害危機管理と支援②	災害時におけるペットの救護対策ガイドライン		
3	災害危機管理と支援③	災害時におけるペットの救護対策ガイドライン		
4	災害危機管理と支援④	災害時におけるペットの救護対策ガイドライン		
5	動物愛護管理行政①	動物愛護管理行政とは		
6	動物愛護管理行政②	動物愛護管理行政とは		
7	動物愛護管理行政③	動物愛護管理行政とは		
8	動物愛護管理行政④	動物愛護管理行政とは		
9	動物愛護管理行政⑤	動物愛護管理行政とは		
10	動物を適正に飼養するということ①	動物の適正な飼養方法		
11	動物を適正に飼養するということ②	動物の適正な飼養方法		
12	動物を適正に飼養するということ③	動物の適正な飼養方法		
13	動物を適正に飼養するということ④	動物の適正な飼養方法		
14	動物を適正に飼養するということ⑤	動物の適正な飼養方法		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 (EDUWARD Press) ・授業毎の配布プリント 	期末試験 出席率	80.0% 20.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物生活環境学		動物看護総合学科/3年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	林 勇樹
授業の概要				
動物の行動様式を理解したうえで、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設および動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物行動学を踏まえた人とペットのための飼養環境整備の必要性や方法について理解する。 ・様々な環境の整備・管理方法について理解する。 ・飼育マナーの必要性や目的について理解する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		香川県内の動物病院で2年間動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
普段の生活の中で、動物たちが快適に暮らせる環境について考える。				
回	テーマ	内容		
1	飼養環境整備①	犬と猫の飼養環境整備		
2	飼養環境整備②	犬と猫の飼養環境整備		
3	飼養環境整備③	犬と猫の飼養環境整備		
4	飼養環境整備④	犬と猫の飼養環境整備		
5	飼養環境整備⑤	犬と猫の飼養環境整備		
6	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン①	ペットツーリズムの現状と実施方法 など		
7	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン②	ペットツーリズムの現状と実施方法 など		
8	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン③	ペットツーリズムの現状と実施方法 など		
9	保護収容施設	動物愛護管理センター等の役割 など		
10	ペットへの教育・訓練施設	ペット飼育に関する課題 など		
11	動物介在教育施設	法的背景 など		
12	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応①	飼育マナーの必要性や目的 など		
13	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応②	飼育マナーの必要性や目的 など		
14	ペット飼育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応③	飼育マナーの必要性や目的 など		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻 (EDUWARD Press) ・授業毎の配布プリント 	期末試験 出席率	80.0% 20.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット関連産業概論		動物看護総合学科/3年	2024/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ペット関連産業における職業倫理について理解する ・ペットの飼養実態と市場規模について理解する ・各ペット関連産業の現状と課題について理解する ・動物取扱業について理解する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として、7年間動物病院に勤務		
時間外に必要な学修				
ペットに関連する産業に触れた際に、その現状や課題について考える時間をもちましょう				
回	テーマ	内容		
1	ペット関連産業における職業倫理①	ペット関連産業と職業倫理		
2	ペット関連産業における職業倫理②	ペット関連産業と職業倫理振り返り		
3	ペット関連産業における職業倫理③	愛玩動物看護者の倫理綱領の復習		
4	ペット関連産業における職業倫理④	商取引における関連法規の概要		
5	ペット関連産業における職業倫理⑤	動物の愛護及び管理に関する法律		
6	ペットの飼育実態と市場規模	ペットの飼育実態 各ペット産業の市場規模		
7	各ペット関連産業の現状と課題①	ペット産業の分類		
8	各ペット関連産業の現状と課題②	動物病院の現状		
9	各ペット関連産業の現状と課題③	動物病院以外のサービス業の現状		
10	各ペット関連産業の現状と課題④	生体販売業の現状		
11	動物取扱業①	動物取扱業制度の概要		
12	動物取扱業②	動物取扱責任者に必要な技術と知識		
13	理想とするペット関連産業①	自分が理想とするペット関連産業について考察する		
14	理想とするペット関連産業②	自分が理想とするペット関連産業について考察する		
15	理想とするペット関連産業③	自分が理想とするペット関連産業について考察する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻(エデュワードプレス) ・授業毎の配布プリント 		レポート 出席率	80% 20%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学実習 I		動物看護総合学科/3年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小,長尾
授業の概要				
講義で取得した知識の実践とし、診療現場に必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を取得する				
授業終了時の到達目標				
今までの授業で得た知識と、動物病院で得る臨床経験から実践的な技術を習得する 受付での対応が一般的な接客業とは異なることを理解し、専門的視点で判断し対応できるようになる さまざまな診療の補助に必要な手技を習得する ウサギやハムスターの扱いについて理解する				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物病院で動物看護師経験22年			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	授業ガイダンス	動物看護のための準備・心構え		
2	受付業務①	事務作業、物品の管理について		
3	受付業務②	薬袋の記入、説明の仕方		
4	受付業務③	飼い主対応、食事指導		
5	超音波検査①	超音波検査の基礎知識、注意点、保定法		
6	超音波検査②	超音波検査画像の観察と保定の実践		
7	薬用量の計算	薬品の取扱いと使用時の計算方法、調合方法		
8	診療補助①	緊急時の対応		
9~10	診療補助②	輸液管理について		
11	診療補助④	エキゾチックアニマルの保定		
12	実技試験の練習			
13	実技試験			
14	総まとめ	これまでに学んできたことの復習		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト第3版 (Eduward Press)		期末試験 実習・実技評価	60.0% 40.0%	

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物臨床看護学実習Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
<p>「動物看護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」での実践能力に応用力を用いて診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。</p> <p>全身の身体検査を実施し、バイタルサインの評価・記録・獣医師への報告が行えるようになる。それぞれの動物種と状態に応じた保定技術を身につけ、できるだけ受診動物に負担がなく、かつスムーズな診察・処置が行えるよう、サポートができるように習得する。また、手術関連業務として外科手術に必要な「術前準備と術後業務」「麻酔器・モニター機器」までの意義を理解し、機器の管理・備品の準備・正確な手技をマスターし適切な取り扱いができるようになる。動物の状態観察および看護に努め、院内・犬舎・猫舎・入院舎の衛生管理に努め、滅菌・消毒・殺菌への理解を深めながら感染の予防を実践する。</p>				
授業終了時の到達目標				
授業概要に記載				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として22年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	前期末試験の見直し	前期末試験の解説と復習		
2~4	血液検査①	血液検査の準備、採血管の種類を覚える		
5	輸血	輸血の目的、準備と補助の手技を学ぶ		
6~8	X線検査	X線検査の基礎知識から保定の実践		
9	手術器具	翼現場で使用する手術関連器具を覚える		
10	診療補助	猫と暴れる犬の保定、対応方法		
11	実技試験の練習			
12	実技試験			
13	総まとめ	これまでに学んできたことの復習		
14	期末試験			
15	期末試験の解説			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト(インターズー)		期末試験 実習・実技評価	60.0% 40.0%	

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物外科看護学実習Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	吉本 由紀子
授業の概要				
卒業研究として実施する。 動物看護に関する研究課題を各自1テーマ設定し、事実・データの根拠とともに推察される自らの考えを検証し論文形式で文書を作成する。その過程で少人数の班に分かれ、それぞれの研究について他者の視点を交えブラッシュアップするためのディスカッションを実施する。また、その研究成果をスライド発表する。				
授業終了時の到達目標				
各自で興味のある事柄について課題を抽出・検証し、論理的思考をもって論文を作成することができる。 社会人として必要とされる能力(コミュニケーション能力・主体性・協調性等)を身に付ける。 パワーポイント等を用い、研究成果をまとめてわかりやすく伝えることができる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物病院における獣医師としての診療業務 5年 医療用医薬品メーカーにおけるMR(医薬情報担当者)への教育訓練業務 7年			
時間外に必要な学修				
各自の研究内容の検証				
回	テーマ	内容		
1	1) 導入	卒業研究の意義(企業が求める人材とは?求められるスキルの習得を目指す) どのようなものを作成するのか テーマの選定		
2	2) テーマの選定	興味のあるテーマを複数選定し、どのような検証方法が考えられるか検討し、その中から現実的なテーマを1つに絞る。		
3	3) 先行研究探索(書籍・論文等)	研究テーマに関する先行研究を探索する。		
4~15	4) 検証方法の検討と決定 5) データの収集 6) 結果のまとめと考察→データ不足の場合、	検証方法を確定し、実行し、その結果をまとめ、考察する。また、論文を作成する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
なし		課題・レポート	100.0%	前期終了までにデータの取得を目指す。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
AAA実習 I		動物看護総合学科/3年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	10回	0単位(20時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションが取れるようになる ・動物を介して、よりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、それらについて考えることができるようになる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として、7年間動物病院に勤務			
時間外に必要な学修				
【事前準備】担当犬の衛生管理・シャンプー、レクリエーション準備				
回	テーマ	内容		
1~2	アニマルセラピーとは	アニマルセラピーを理解する		
3~10	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 出席率	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
AAA実習Ⅱ		動物看護総合学科/3年	2024/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションがとれるようになる ・動物を介してよりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として7年、動物病院に勤務する。			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く担当犬の衛生管理(シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護総合実習Ⅲ		動物看護総合学科/3年	2024/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身に付けた知識や技術を総合的に実践する。また、牧場や動物園、水族館など様々な職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 動物病院の概要(地域特性、診療方針、スタッフの構成等)を理解し、チームで行う愛玩動物に対する医療を体験する 総合的な動物看護の実務に関わる指導を受け、動物看護師の実務能力を修得する 動物看護師としての役割や責任について、認識を深める 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として22年間、動物病院で勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~5	実務型実習	オリエンテーションを受け、動物看護師として実際に就業することを理解する		
6~10	実務型実習	指導者の助言を受けながら、動物病院における獣医師との連携の中で看護計画の展開を修得し、動物看護実務を遂行できる能力を養う		
11~15	実務型実習	動物看護に関する多くの項目についての技術を、可能な限り体験し学習する		
16~20	実務型実習	動物病院内における、動物看護師の役割やチームで行う愛玩動物に対する医療の機能、行動、責務について考えることができる		
21~25	実務型実習	動物愛護の精神、言葉遣い、プライバシーの尊重など、基本的な事項についての認識を深める		
26~30	実務型実習	学内でのカリキュラムや各教科と、動物病院における実際の動物看護業務との関連を十分に把握し、実践に活かす		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	・「動物看護総合実習」の成績評価については、インターンシップ評価表の結果をもとに点数化し評価する